

各位

病害虫防除所長

平成25年度病害虫発生予察技術情報資料(第9号)の送付について

果樹カメムシ類(チャバネアオカメムシ等)の発生に注意してください!

果樹カメムシ類の発生が増加する傾向にありますので、果樹園への飛来には十分に注意してください。9月第3半旬に入り県内の各地域で果樹カメムシ類のフェロモントラップへの誘殺数が増加傾向にあります。9月1～3半旬までのフェロモントラップ調査の県内合計値は平年の2.6倍の誘殺数(表1)となっています。地域別で見ると県中西部において平年を大きく上回る誘殺数となっており、中央部でもやや多めの発生となっています(図1～4)。

県中央部で実施しているカキ果実への吸汁被害調査では、9月中旬より被害果が見られていますが、これまでのところ被害果率は平年を下回っています(図5)。

生産現場からの情報では、県中央部及び中西部、西部のカンキツほ場においてカメムシ類の発生が目立ってきており、一部では寄生密度の高いほ場も見られているようです。

本年は2～3月のスギ・ヒノキ花粉飛散量は平年並～やや少なかったものの、7～8月に少雨であったことから、当年世代の繁殖条件が比較的好適であったことが推測できます。今後、台風などの強風により山林のスギ・ヒノキからチャバネアオカメムシ・ツヤアオカメムシが離脱して、ナシ・カキ・カンキツなどの果樹園に飛来し、果実被害が増加する恐れがありますので、園地への飛来状況を早期に把握し、被害防止に努めてください。

表1：9月1～3半旬までの果樹カメムシ類¹のフェロモントラップ誘殺数(頭)

地点 ²	県東部	中央部	中西部	西部	県内合計 (平年比,前年比)
2013年	0	90	284	44	418 (255%,252%)
2012年	8	78	75	5	166
2011年	0	30	89	81	200
平年 ³	13	58	37	56	164

1：チャバネアオカメムシ・ツヤアオカメムシ・クサギカメムシの合計

2：東部：安芸市井ノ口、中央部：香美市土佐山田町鏡野、中西部：須崎市戸波浦、西部：四万十市名鹿

3：2003～2012年の10ヶ年平均

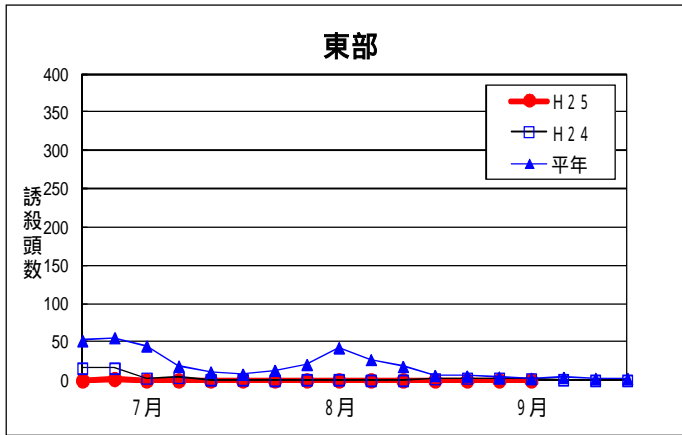


図1：果樹カメムシ類のフェロモントラップ誘殺数(東部)

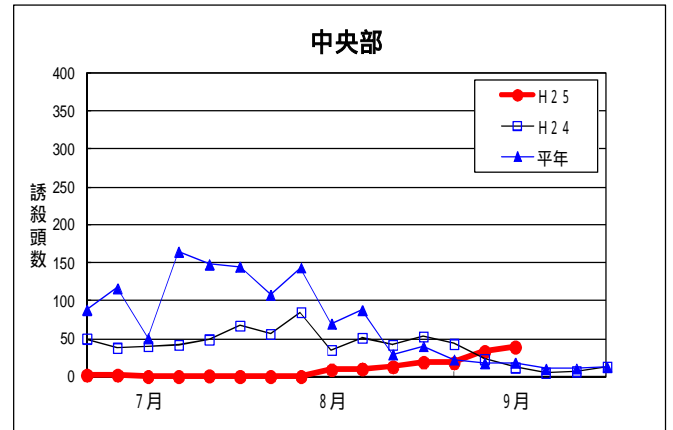


図2：果樹カメムシ類のフェロモントラップ誘殺数(中央部)

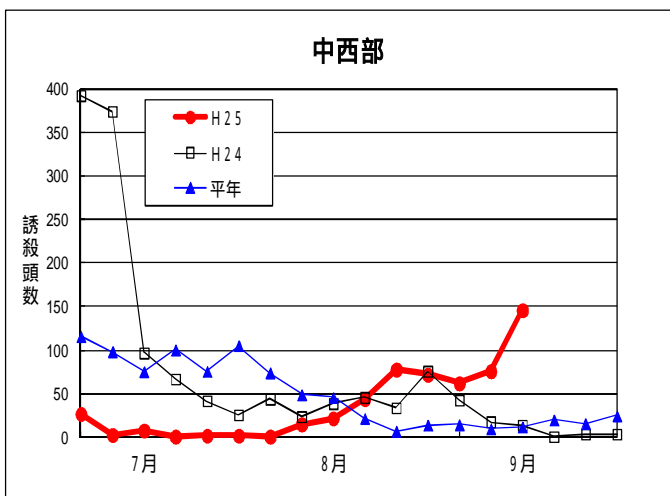


図3：果樹カメムシ類のフェロモントラップ誘殺数(中西部)

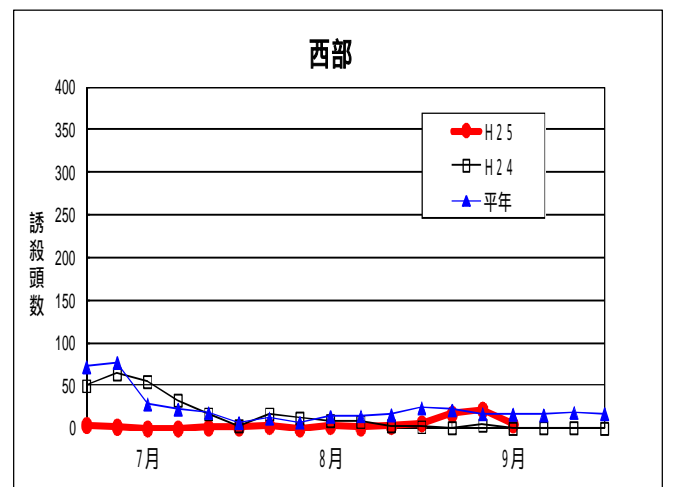
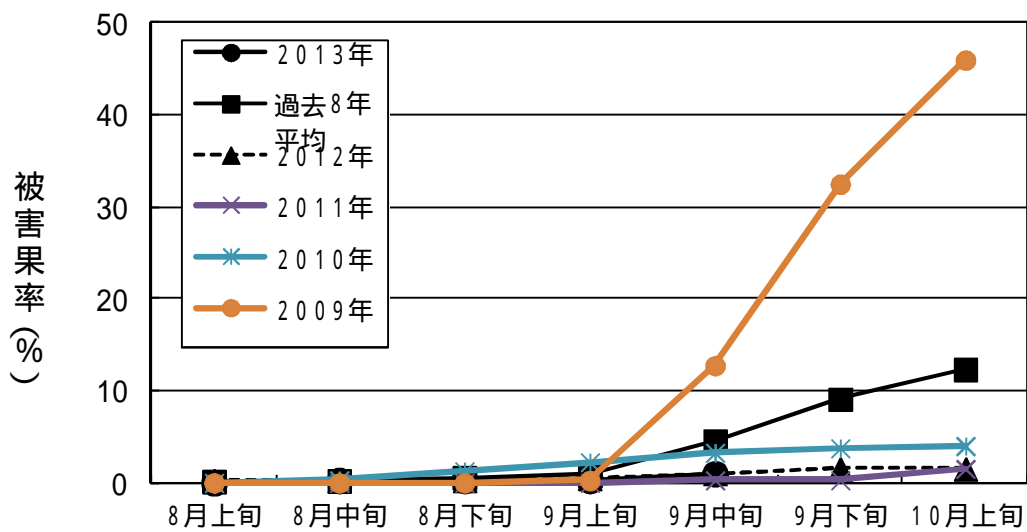


図4：果樹カメムシ類のフェロモントラップ誘殺数(西部)



第5図 カキ果実の被害果率の推移(4ほ場平均)